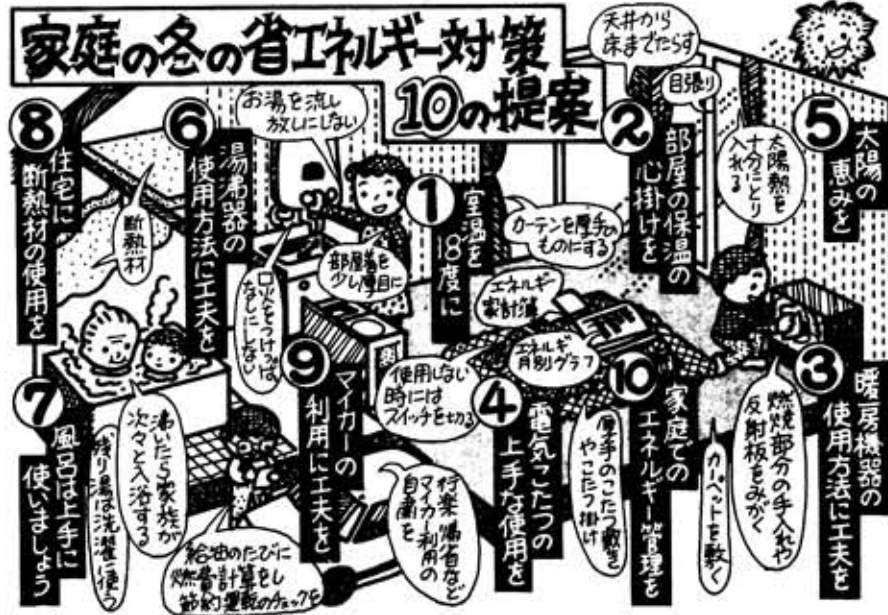


省エネ型の生活習慣を身につけよう

《家庭の冬の省エネルギー対策—10の提案》

家庭で使うエネルギーのうち、冬季の暖房用のエネルギーは、約4割を占めるといわれており、それだけに冬の省エネルギー対策は非常に重要です。各家庭におかれては、今年の冬は次のような工夫を行うことにより、省エネルギーにご協力いただくようお願いいたします。



わが国は、ふだん使う石油の九・八割を海外から輸入しています。二月は「省エネルギー月間」です。限りある貴重な資源をムダなく、有効に使いましょ。家庭の冬の省エネルギー対策・10の提案」は、総合エネルギー対策推進関係会議で了承されたものです。

参加しませんか

市民ふれあい教室「成人自治講座」

現在進められている「向日市史編さん」事業で明らかになっていく向日市について、市史編さんにたずさわっておられる専門委員、執筆委員の方を講師に招き各時代の向日市について学習します。なお、今日は成人自治講座とも兼ねて開催します。

3月4日・11日・18日の各水曜日 午後7時～9時

▽定員 70名

▽申込み期限 2月28日

▽申込み・お問い合わせ 中央公民館 電話1-3166

3月4日井上清郎氏(京都産業大学助教授・市史編さん執筆委員)「長

岡京時代

11日高橋美久二氏(京都府教委文化財保護課・市史編さん専門委員)「発掘調査からみた古代の向日市」

18日脇田修氏(大阪大学助教授・市史編さん専門委員)「近世(江戸時代)の向日市」

高血圧教室

昨年9月の心臓病検診を受けられた方約名の中で、高血圧で要注意、要精検の方が17名(二九・七%)おられました。

高血圧改善のためには食生活が重要な役割をもって

▽申込み・お問い合わせ 保健予防課 内線232

▽電話での申込み可

築いていこう差別のない明るい社会

同和問題を考える その1

「同和問題の解決は、国民的課題である」といわれています。しかし、「同和問題」について関心を持ちながらも、正しく知る機会が少ないために、十分理解されていない方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回から「同和問題を考える」と題しシリーズで「同和問題」とは何か、なぜ国民的課題であるのか、といったことについて、みなさんといっしょに考えてみたいと思います。

「同和問題」とは

——民主主義と基本的人権の尊重を主要な柱とする憲法が施行されて以来、民主主義社会の実現をめざす取り組みが積極的に進められてきています。しかし私たちのまわりには、未だに職業や性別、あるいは学歴や家柄などによって、憲法で保障されている基本的人権が侵害されている現実があります。このよう

同和問題とは

今日社会においてもなお、同和地区の人たちが、江戸時代の古い身分制度に由来する差別によって、就職や結婚、近所づきあいや生活で阻害されたり不安定な貧しい生活をよぎなくされているという深刻な実態があります。このような実態は、近代社会において一日も許すことのできない重大な社会問題となっていますが、これが今日の同和問題なのです。

まだまだ時代おくれの意識や慣習、不合理や偏見がこの社会には存在しています。同和問題もその一つで、わが国が民主的であるのに残っているといった問題ではなく、日本がまだまだ民主的でないからこそ現存している問題であるといえます。このことは同和問題が、決して国民から孤立した問題ではなく、国民一人ひとりの生活向上や幸福に生きる権利と深くかかわっていることを示すものです。

同和問題の解決が国民的課題とされているのは、このように同和問題がすべての国民に共通する問題であり、これに取り組むことは、日本の社会にある不合理的なもの、非民主的なものをなくし、わが国に民主主義を實現していくことであり、そのために国民みんなが協力して取り組んでいかなければならない私達自身の問題であるからです。

応募しませんか



あなたの体験を福祉に生かそう

▼テーマ ねたきり老人を介護(世話)して

▼応募資格 京都府民で、家庭でねたきり老人を介護されている方、またはその経験をお持ちの方

▼応募方法 (1)題名・用紙枚数は自由 (2)原稿には氏名・年齢・職業・住所を明記 (3)採用の方は印刷物にして発行します

▼テーマ 四季を通じた京都府の自然景観、文化財風俗、伝統的祭行事、伝

主催者に属します (4)応募原稿はお返ししません

▼期限 2月28日まで

▼送付先 京都市上京区堀川丸太町下ル 京都府社会福祉協議会 電話1-7

175 向日市寺戸町中ノ段17-1 向日市社会福祉協議会 電話1-1960

※採用の方には薄謝進呈

▼受付期間 2月2日～2月27日まで

▼送付先・お問い合わせ 京都市下京区七条烏丸西角東京生命ビル5F (社)京都府観光連盟 電話1-2226

ネズミ駆除薬のあっせん

数々の伝染病原体の菌を持ち歩くネズミを一斉に駆除しましょう。右記の日程でネズミ駆除薬をあっせんします。

▷あっせん価格 強力殺鼠剤 1袋(強力タマリンラット)1009入 30円

▷あっせん殺鼠剤の特長

(1)本剤を食べたネズミは、徐々に内出血を起して死にます。また、粒状でそのまま使えて、使用が簡単です。

(2)ネズミには強力ですが、人間・家畜は大量に食べないかぎり安全です。

(3)屋外に出て死ぬので、衛生的です。

◎あっせん日時・場所

日	場所	時間
2月3日(火)	上植野町事務所	午前9:30~11:30
	西向日事務所	午後1:30~3:30
2月4日(水)	鶴冠井町事務所	午前9:30~11:30
	森本町事務所	午後1:30~3:30
2月5日(木)	物集女公民館	午前9:30~11:30
	向日市保健センター	午後1:30~3:30
2月6日(金)	寺戸公民館	午前9:30~11:30
		午後1:30~3:30
2月7日(土)	向日市役所 環境衛生課(2階)	

歳末たすけあい運動にご協力ありがとうございます

昨年12月に実施しました歳末たすけあい募金にご協力いただき、ありがとうございました。お寄せいただいた募金は総額 3,413,680円で、運動の趣旨にそって、下記のとおり配分させていただきました。

生活保護世帯 104世帯 (250人) 1,366,000円
 準要保護家庭 69世帯 249,000円
 施設入所者に対して 74人 366,000円
 上記施設に対して 27施設 102,000円

配分残額 1,330,680円は、ねたきり老人、独居老人、私立保育所、留守家庭児童会、原簿被災者の会等に配分。

京都府共同募金会向日市分会長 民秋徳夫
 向日市社会福祉協議会会長 清水勝三